

○議長 玉城 勇君 これから本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

開議（午前10時00分）

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長 玉城 勇君 日程第1．会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって14番 宮城寛諄議員、1番 大城真孝議員を指名します。

日程第2．一般質問

○議長 玉城 勇君 日程第2．一般質問を行います。それでは、通告書のとおり順次発言を許します。9番 金城好春議員。

〔金城好春議員 登壇〕

○9番 金城好春君 おはようございます。一般質問もいよいよ今日までとなりました。3日目のトップバッターとして質問をいたします。通告書に従い、大きな項目3点質問いたします。よろしくお願いします。議長、暫時休憩お願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前10時02分）

再開（午前10時03分）

○議長 玉城 勇君 再開します。9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 それでは読み上げて質問をいたします。大きな項目1、安全・安心な環境整備について問う。（1）東部消防署南風原分署前、県道128号線から国道507号へ上がる階段があるが、夕方になると暗い。それと木が折れて南星中学生の登下校に支障を来している。防犯灯を設置して階段を明るくし、木々も伐採して整備できないか。（2）階段の上り口からつかざんトンネルまでの区間はごみが散乱している改善できないか。（3）県道128号線と町道18号線との交差点は日が暮れると暗い。南側の歩道にもう1本道路照明の設置はできないか。

2点目に、町道の環境整備についてお伺いします。

（1）東部消防署南風原分署東側の町道73号線の歩道は草木が繁茂している、改善できないか。（2）町道73号線から国道507号へ出入りする道路に木々が傾いてい

るため片側は通行できない状態になっている。改善できないか。

大きな項目3に行きます。こども医療費助成事業についてお伺いします。（1）11月28日の新聞報道によると県は2022年4月から通院時にかかる費用の助成対象を中学校卒業までに拡大する方針を発表したとあった。県の助成拡大によって南風原町のこども医療費助成金はどれくらい削減できるか。以上、3点お伺いします。よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 おはようございます。それでは質問事項1点目の安全・安心な環境整備について問うにお答えします。まず（1）、（2）、（3）については関連しますので一括してお答えします。維持管理及び道路照明等について、県道128号線、国道507号の管理者である沖縄県南部土木事務所と改善に向けて協議してまいります。

質問事項2点目の町道の環境整備について。（1）についてお答えします。集落周辺の町道については、各自治会の清掃活動の協力もいただき維持管理をしております。町道73号線につきましては、自治会と協議の上、改善したいと考えております。

（2）についてお答えします。道路管理者である沖縄県南部土木事務所と改善に向けて協議してまいります。

質問事項3点目のこども医療助成事業についてお答えします。今回の通院対象年齢の拡充により、令和元年度ベースで試算すると県からの補助金が約4,400万円増額する見込となります。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。それでは再質問をいたします。まず（1）今週、消防署前を通って役場のほうに通勤していますけれども、見ると伐採の跡がありますけれども、町がやったんですか、県がやったんですか、どちらでしょうか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。16日までに、こちらの階段周辺については、所有については国土交通省の所有の土地はですね。しかし、管理区分のほうは南風原町になっているため、南風原町のほうで伐採をしております。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 早めの対応大変ありがとうございました。子供たちも安心して登下校できると思います。もう1点、その階段を照らす防犯灯ですが、それは南風原町が立てられるのか、県にお願いするのか、

お聞かせください。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 管理については町になりますので、今のところ設置するかどうかは検討してまいりますが、昨日時点で一応伐採は終えておりまして、明るくなっているのが見受けられると思います。防犯灯の必要性も、今後必要なのかどうかについても十分検討したいと思っております。一応町のほうで設置することになると思います。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 議会が終わりましたら、まずウオーキングがてら通ってみたいと思います。夏場は夜の8時頃まで明るいし、大丈夫なんです、日が暮れるのが午後6時なんですね。6時になると真っ暗です。そういうことで子供たちも暗いところを登下校すると不安になると思いますので、この質問を取り上げました。是非執行部の皆さんも夜どうなっているか確認していただいて、対処していただきたいと思います。

2番目です。つかざんトンネルまでのごみの散乱ですが、昨日寛諄議員からも、あれは長堂川沿いの国道507号のごみの不法投棄の質問がありましたけれども、町はこの管轄の南部国道、南部土木事務所ですか、国道であるけれども、維持管理は南部土木事務所が請け負っているということで、南部土木事務所に行くとお話をしたんですが、消防行政は普通は管轄内の消火活動とか救急活動をやりますけれども、他市町村で大規模な火災があると協定を結んでおりまして、応援要請があると、応援に行くわけですね。何年か前に糸満のほうで大規模な火災が発生しまして、応援要請が来て東部消防の消防車も行ったということを知っています。それから上空の、地上の上の高速道路、そこで事故が発生した場合、西原町の管轄でも近いところは東部消防組合ということで救助に向かうということを知っています。そういうことで町長にお伺いしたいのは、南部広域市町村圏事務組合がありますね、その組合から県と協議して、各自治体のごみ、これは委託料をもらって片づけることはできないか、交渉していただきたいんですがいかがですか。

○議長 玉城 勇君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。国、県管理の道路のごみの処理について、南部の町村会で委託を受けて対応できないかというふうな趣旨のご質問だと思いますけれども、これまでこういったふうな内容の会議、協議がありませんので即答はできませんけれども、隣町村全てそういったふうな形で苦労しているという状況であれば、また機会があればそれも議題に上

がるかなと思っております。基本的に、管理者が対応するというのが基本でございますけれども、それは相手がいることでございますので、県のほうが予算化して、対応費、委託料を準備して市町村と協議に臨んでくれるかどうか。そのあたりもまたハードルでございますので、そういったことも検討しながら、また所管課が県との、先ほど答弁いたしましたように県と協議していくということを申し上げておりますので、その中でも市町村に委託できるかどうか。あるいはまた南風原町だけでこの委託を受けていいのかどうか、そのあたりも内部でも検討しないといけないわけでございますので、申し訳ありませんが、ここでの即答はできませんけれども、先ほど申し上げましたように南部地区の町村会あたりで議論になれば、また私も意見を申し上げていきたいと。機会があればそういったことを申し上げたいというふうに思っております。以上でございます。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。是非、南風原町長から先陣を切ってこういう提案がありますが、いかがですかということで議題に上げて、協議してもらって、もし賛同を得られましたら県のほうと折衝していただきたいと要望して、このごみの問題は終わります。

(3)に行きます。県道128号線と町道18号線との交差点は日が暮れると暗い、南側の歩道にも1本道路照明の設置はできないかということなんですが、今実際、小さな防犯灯が北側の歩道の角っこのほうに設置されています。これは歩道の真下だけ明るくて、県道、町道は光が当たらないわけです。だから南星中の部活を終えた子供たちが6時頃、この横断歩道、スクランブル横断歩道ですか、こっちは歩車分離式ということで、車は両方とも全面ストップ、それから歩行者専用の信号機が縦横、青になって子供たちが横断しますけれども、6時頃になるとこっちも暗くて、子供たちがドライバーから見えづらいということもありまして、道路照明の設置はできないかという質問でございます。これは県道だから県のほうにお願いするということなんでしょうか。確認の意味でお聞きします。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。当路線については、県道128号線、それから町道18号線との交差点となります。通常、私たちの認識では上位路線の県道128号線の管理であります南部土木事務所のほうに協議をまず申し入れたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 是非、これは設置されますことを希望してこの質問は終わります。

大きな項目の2番目に行きます。(1)、この草木ですけれども、以前は津嘉山区も73号線、草刈り作業のコースに入れていました。しかし、ずっとずっと回っていて、橋を越えてファーマーズに行くところの交差点ですね、向こうから道路改良工事が入ってまして通行できないわけなんですね。そういうこともあってか、この道路はコースには入れていないわけですが、是非課長のほうで区長会のほうに参加していただいて要請していただきたいんですが、いかがですか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。これまで町の管理する道路と河川等もありますけれども、何せ広範囲になりますので各自治会のご協力もいただきながら、一斉清掃のときにそちらのほうも清掃活動をしてもらっているのが現状でございます。ですので、これまで津嘉山区のほうでこの当路線についても維持管理をしてもらったということがございます。引き続き、各自治会においても集落周辺地域の範囲でご協力いただいたのが現状でございますので、改めてということではないですけれども、引き続きご協力をお願いしたいということで、今回お話があるところについては自治会のほうにご相談させていただきたいと、協力要請を引き続きしていきたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 3週間ほど前になりますか、夕方方向こうを通ったらパッカー車が止まっています、五、六名の作業員がこの128号線から東側の歩道だけ10メートルか20メートルぐらい刈り取っていたんですよ。夕方5時頃だったもので、ここは全部刈りますかと聞いたんです。そうしたら、いや今日は日が暮れるから次にやりますという返事だったんです。その作業する人たちは町がお願いしたのか、県がお願いしたのか、そのところはご存じですか。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 お答えいたします。議員の、どちらのほう草の清掃活動をしたのかということですが、これは多分、町の、私のほうにはまだ耳に届いてはいませんが、情報によりますと、そういった活動、草刈りをしたいというふうな申出、うちの職員の方では受けているようです。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 じゃあ、はっきりしないという

ことでよろしいですか。この作業をしたメンバーは、町の職員なのか、ボランティアなのか、県の職員なのか。もう1回お願いします。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 ボランティアでの活動と認識しております。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 全部上のほうまで刈り取ってくれるかなと期待していたんですが、あれ以来、全然姿を見せなくて、今日の質問になっております。こちら通学路になっていて、山川出身の子供たちはこっちを通って、また国道507号に入って登下校をしているわけです。それから近隣の保育園の散歩コースにもなっています。そういうことで子供たちが散歩しやすいように整備していただきたいという趣旨の質問でございます。よろしくをお願いします。2番目終わります。

大きな項目3番目です。助成金が4,400万円ということ、今まで町が持ち出していたこの4,400万円が、削減されるということよろしいですか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。答弁にございますとおり、これまで南風原町は年齢拡充分に対しては8,800万円を支払いしておりましたので、その2分の1になります4,400万円が県から補助があるというふうになっております。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。もう一つ質問、確認の意味での質問をいたします。新聞には大きな項目で、中学校卒業までは医療にかかるお金は全部無料になりますと大見出しでありました。中身の記事では、通院時にかかる費用の助成対象を中学校卒業までに拡大と記されていまして。そこでお伺いしたいのは、入院費にかかる費用は既に今まで県から助成してもらっていると解してよろしいのかどうか。その点をお願いします。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。議員おっしゃるとおりでございます。

○議長 玉城 勇君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 分かりました。ありがとうございます。昨日も、こども医療助成事業については大城毅議員から同じ質問がございまして、先陣を切って南風原町が取り組んできたことが、県にようやく認められたと、町の英断に深く敬意を表しますという毅議員のお話もありました。私も全く同意見であります。大変、コロナ禍で本当に暗いニュースばかりでしたけ

れども、この県の助成対象拡大、中学卒業まで明るいニュースだと大変喜んでるところです。これからも南風原町の医療費負担、なるべく削減できるように取り組んでいただきたいと希望して私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長 玉城 勇君 休憩します。
休憩（午前10時28分）
再開（午前10時32分）

○議長 玉城 勇君 再開します。
通告書のとおりの順次発言を許します。4番 石垣大志議員。

〔石垣大志議員 登壇〕

○4番 石垣大志君 それでは通告書に従いまして、一般質問を始めます。大きい1番、新型コロナウイルスについて。（1）本町においても新型コロナ累計患者数が150名を超えた。第3波への対策が急務になると考えるが、今後の取組や支援策は。議長、休憩お願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。
休憩（午前10時33分）
再開（午前10時33分）

○議長 玉城 勇君 再開します。石垣大志議員。
○4番 石垣大志君 大きい2番、子供のインフルエンザ予防接種費用の助成を。（1）新型コロナの感染拡大によりインフルエンザとの同時感染について不安の声がある。インフルエンザ予防接種費用の助成は、新型コロナ感染拡大による医療機関の逼迫を避ける効果もあると考えるが、対象の拡大を検討してはどうか。

大きい3番、各種統計のオープンデータ化を。（1）様々な統計資料や町の魅力発信・PRにつながる情報を活用できるオープンデータ化構築を図れないか。

大きい4番、ドリームコート（花・水・緑の大回廊公園）の再整備について。（1）フットサルコートを人工芝へとの声がある。ドリームコートの再整備の予定はあるか。答弁よろしくをお願いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。
○副町長 国吉真章君 それでは質問事項1点目の新型コロナウイルスについてお答えします。引き続き、マスクの着用や手洗い、うがいの励行、新しい生活様式の実践等の感染拡大防止に向けた取組を周知してまいります。また、今後とも国の動向を注視し、支援策を検討してまいります。

質問事項2点目の子供のインフルエンザ予防接種費用の助成についてお答えします。県内市町村の状況等

を調査し検討してまいります。

質問事項3点目、各種統計のオープンデータ化についてお答えします。本町におけるオープンデータ化の取組は昨年度から行っており、地域ごとの年齢別人口の、過去5年分のデータをホームページにて公開しております。公共のオープンデータは、地域の課題解決、経済の活性化の促進が期待されており、今後、統計資料や町の魅力発信・PRにつながる情報についてもオープンデータ化に取り組んでまいります。

質問事項4点目のドリームコートの再整備についてお答えします。フットサルコートについては、現段階で再整備の予定はありません。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。それでは順次再質問させていただきます。この新型コロナウイルスでございますけれども、今現在も現状として本町の様々な事業者の方々、いろんな工夫の中、経済活動に取り組んでいると認識をしております。ただ、危機感のほうは今もなお残っておりまして、今年を乗り切ったとしても来年どうなるのかと。資金繰りがショートしたときにどこに頼ればいいのかであったり、追い詰められている方々、今現在もたくさんいらっしゃるというふうに思っております。各種国、県のコロナ給付金支援の対象から外れてしまった事業者の方々であったり、その影響でそこに雇用されている方々がまた収入減になってしまうという可能性も非常に高くなっておりまして、これからいろんな苦しい現実が既に見えている方々、事業者の方々もいらっしゃると思っております。そんな方々にも家族があり、子供がおり、そしてまた子供たちも感染拡大の影響によって、多大な影響を受けていると感じております。部活動の大会が中止になったり、行事が中止になったり、子供たちにおいてもこのコロナ危機を乗り切るサポートを必要としているというふうに思っております。また、感染拡大に不安を持つ医療的ケア児や基礎疾患を抱える保護者の方々もやはりこの危機意識を持って、今もなお生活の制限をしていることと思っております。子供からお年寄りまで世界が経験したことのない、今の危機に最前線で奮闘されている医療、介護の従事者の皆様におかれましては本当に心からの敬意と感謝を申し上げます。本町においても、苦しんでいる方々を支援できる体制づくりに全力で取り組んでいただきたいと思います。そこで伺います。

国の第三次補正予算が可決されました。沖縄県等、各省庁等々支援策の情報がこれから出てくるのかなと思っております。本町においても、これまで緊急事態

宣言時の中であつても様々な対応をしていただきました。第1波、第2波の経験を踏まえて国、県の各種支援策、先手先手で情報提供をお願いしたいと思いますが、答弁いただけたらと思います。

○議長 玉城 勇君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 国の三次補正予算は閣議決定をされております。実際に国会に提出されるのが1月の通常国会となっています。我々が把握していることについては、1月下旬には可決されて、その内容、配分額が2月頃には、南風原町の配分額が知らされるものと認識しておりまして、現段階で各職員には支援策を検討するようというところで通知をしているところであります。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。是非ですね、医療提供体制の逼迫、今ちょっと心配でございますけれども、経済の状況の悪化、こっちも心配で。本当に見通しの見えない状況、個人的にはまだまだ続くのかなと思っております。是非、町長のほうからも一言町民の方々にメッセージをいただけたらと思います。よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。新型コロナ感染拡大防止に関しましては、これまでも機会あるごとに町民の皆様にご理解とご協力をお願いしているところでございます。答弁にもございましたけれどもマスクの着用、それから三密を避ける等々ですね、これまでお願いしてきたことを改めてお願いするわけでございますけれども、その中で新しい生活様式の実践といえますか、これは是非町民の皆様にも実践をしていただきたいというふうに思いますと同時に、特に最近感じますのが家庭内感染がございますので、それも是非防止するためにも沖縄独特のモアイですね、あるいはまた新年会等々も、大変申し訳ありませんけれども、このたびは自粛をしていただきたいということでございます。まず考え方といたしまして、自分が大事な人を大事にするためにも、愛する人を大事にするためにも、是非町民一人一人、皆さんが新たな生活様式の実践を守っていただきたいというふうなことでございます。事業者への支援に関しましては、これまで町といたしましても幾つか対応してきましたけれども、また新たな交付金もあるという見込みでございますので、それも活用いたしまして、可能な限り事業者、あるいはまた医療関係、それから介護関係の皆さん方につきましては、国、県がそれなりの対応をしていると思いますので、町といたしましては保育、あるいはまた学童

クラブ関係ですね、それから事業者の皆さん。そういった方々へ支援ができないか、今後また国の補正予算を見ながら検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどをお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 町長ありがとうございました。次に移りたいと思います。

2点目の子供のインフルエンザ予防接種でございますけれども、これまでの、過去の議会でも要望させていただきました。今年も町民の方からたくさん要望がございまして、今現在の医療提供体制の逼迫が本当に心配しているところでありますけれども、話を伺っていると、救急患者にも影響が今も出てきているという話も伺いました。今回のコロナ禍によってこれまで以上にインフルエンザとの同時感染、現状は全然はやっていないという話でもございますけれども、不安や関心が高まっている状況だと思います。1番の理由が、特に近隣市町村が次々と予防接種費用の助成を拡充していった分、また関心が高まっていったのかなというふうにも考えております。伝えたいことは、財政状況が非常に厳しいということも重々承知もしております。本町においては次年度も含めて費用の助成、まずは検討のほうから行っていただきたいと思っておりますけれども、答弁いただけたらと思います。よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 石垣議員の質問にお答えします。答弁にもありますように、近隣市町村の状況等も確認しながら、また財政とも調整しながら検討を進めていきたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。まずは検討のほうからよろしくお願いいたしますと思います。

次に3点目のオープンデータに関してですけれども、各種統計のオープンデータ化、知人から様々な提言をいただきまして、今回の質問に至ったわけでございますけれども、やはりオープンデータ化に取り組むことによって、本当にいろんな課題解決につながるというふうに最終的にはそうなると思っております。このデータの活用が可能になりまして、オープンデータに取り組むことによってデータの活用が可能になってくると。データが集まってくると、今度データの可視化が可能になると。分かりやすく先進事例をいいますと、大阪市の事例でございますけれども、データを可視化することに取り組んで、これまで表で掲載していた保育施設の年齢別の空き情報をGoogleマップ上に表示して、地図を見ただけでどここの保育所があいているのかを、

一目で分かるようにデータ化を可視化しております。簡単にいうと、保育施設の空き情報は今まではエクセルで何々保育園、所在地、ゼロ歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳と表でホームページに掲載をしていた。それをグーグルマップ上に地図を見て、グーグルマップを開くとあいている保育園がぽつぽつと地図上に出てくるといようなデータの可視化に取り組んで、結果として住民から喜ばれているというような取組を行っております。これも一つの事例ではございますけれども、こういったオープンデータ化に取り組むことによってデータの活用が可能になって、データの活用が可能になることで今度は加工、分析をしていくことですね、このデータの可視化に取り組んでいる状況にあるというふうに思っております。ただ、私もまだ勉強不足でオープンデータ化を推進する必要があると思っているんですけれども、各課の連携が必要になってくるということもお伺いしました。オープンデータの推進とデータの可視化、データの活用、データの蓄積、この辺を積極的にこれから取り組んでいただきたいと思いますけれども、見解を伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。議員おっしゃるとおり、このオープンデータのことは、これから様々な展開が考えられます。こういった状況もあるものですから、町としても積極的に情報についてオープンデータ化して、推進に取り組みたいと考えています。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 オープンデータなので公開していくという話なんですけれども、もちろん公開するデータ、縛りといいますか、規制もあってデータを出す前に選定をする、データの選定がまず必要になってくると思っております。選定後のデータの積極的開示と、その後のデータの活用、そしてデータの蓄積。蓄積したデータを可視化することで施策の根本が強化されていくと。EBPMということが何かありましたけれども、証拠に基づいた政策立案が可能になると。政策の根本であるデータの部分が強化されることによって政策に対する精度だったり、評価、効果の測定だったり、そういったものができるようになってくるというふうに考えております。よって、一番最初の根本であるオープンデータの取組というものが重要になってくるのかなと思っております。このオープンデータに取り組むことによって効果的に実施できて、最終的には住民の利益につながっていくものと思っております。やはり今、子供たちがGIGAスクール構想によって新しい

取組が始まって、地域の課題解決に貢献したいと子供たちが思ったときに、こういった分析されたデータ、可視化されたデータが、このオープンデータのような素材がない状況となってしまうと、GIGAスクール構想で培った子供たちの力というのが全然生きなくなると。なので、次の世代の子供たちの将来を考えてもこのオープンデータの取組は必要不可欠になってくるだろうと考えております。この辺を是非教育関係、教育部署から一言いただけたらと思います。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。学校現場では、町のことを子供たちが学ぶときには紙の本とかですね、特に3年生と4年生で、私たちのまちについてということで勉強しています。これがオープンデータ化されたということになると、これから子供たちはさらに深く分析をしたりとかということに活用していけると思いますので、今後、児童生徒への端末の整備をして、その活用の中で検討してまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。是非ですね、この取組はどの部署も絶対必要になってくる。取り組むことによって南風原町の力もパワーアップしてくるのかなというふうに考えております。ちょっとまた、事例がありまして、埼玉県の戸田市が教育改革にデータの活用だったり、教育改革の取組にAIを活用して小中学校でAI評価ツールを導入し、従来、数値化されない評価をAIによって子供たちの耐候性や協調性、論理的思考力や共感、傾聴力等を数値で可視化し、AIがデータを補正し最終的なスコアを導き出すと。結果として教員の実感とAIのスコアが一致し、評価ツールの信頼性が確認できたと。学校現場がデータ活用の利点を十分に理解することによって、この子供たちへの学力の向上であったり、また教員の負担軽減にもつながるのではないかというふうにおっしゃっております。客観的な証拠に基づいた政策の立案というものがデータの活用によって可能になった事例でもあると思います。是非ともこの埼玉県戸田市の教育改革の取組、参考になるか分かりませんが是非とも活用していただけたらと思います。

次に4点目に行きたいと思います。ドリームコート（花・水・緑大回廊公園）の再整備についてでございますけれども、テニスコートの部分も含めて考えてもいいのか。花・水・緑大回廊公園とドリームコートの違いがあまり理解できていなくて、その辺を教えてくださいたいと思います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。大志議員がおっしゃっている花・水・緑大回廊公園ということで、ドリームコートということで、通常我々の認識としてはドリームコートで、テニスコートの意味合いで考えていたんですけれども、一般の方からも貸出しの場合、ドリームコートのサッカー、フットサル場とか、そういう問合せもあって、ドリームコート自体はテニスコートの意味合いであったんですけれども、一元的に、昨日善之議員からも質問あったんですけれども、テニスコートとかスケートボード場ですか、あとサッカーコートですね、それも含めて一応今ドリームコートという認識で話しています。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。自分の要望としましては、今テニスコート場が使われていない状況にあると。フットサルコート、インラインスケート場だったりとか、スリー・オン・スリーのバスケットの部分とか、再整備の予定があれば是非この、提案なんですけれども、那覇市のセルラーパークのような人工芝のイメージをしまして、多目的コートですね。そういったものを造るとサッカーもできますし、野球の練習もできると。テニスもできるし、保育園の運動会だったりスポーツイベントも開催できると。ちょうど高架橋の下なので雨もしのげますし、感染拡大にあまり関係ないのか分からないですけれども、一応、人工芝、多目的に活用できる人工芝を是非造っていただきたいという思いがありまして、この辺の検討をお願いしたいと思いますが、見解を伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。ただいま大志議員がおっしゃるように、今、ドリームコート、テニスコートも空いている状態です。私たち整備側としては、国からの補助金等も活用しながら、今言った用途関係を重々検討しながら検討していきたいと。追加で、今大志議員がおっしゃっているフットサル場でサッカー使用、貸し出ししている箇所はインラインホッケー場ということで、最初の整備はそれでやっております。ただ、兼用というか、確かにサッカーコートの場合はインラインスケート、下はプラスチックの状態になっています。その場合に、フットサルをする場合は摩耗だったり、選手のけが等も多いということで一応認識はしていますけれども、実際、人工芝にその場所を整備変えとなると、インラインホッケーができない状態になると思います。それで今言ったドリームコート跡地とか、それも含めてまた芝等の検討ができ

るかどうか確認してまいりたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。是非ですね、この多目的コートのような人工芝を大志議員、ちょっと要望してくれないかということをお子供たちからお願いされていますので、是非実現できたらいいなというふうに思っております。以上で終わります。ありがとうございます。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前10時56分）

再開（午前11時07分）

○議長 玉城 勇君 再開します。

通告書のとおり順次発言を許します。12番 赤嶺奈津江議員。

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん 午前中ですね、まさかこんなに早く順番が回ってくると思わなかったものですから、ちょっと緊張しておりますけれども、今定例議会ラストバッターで質問させていただきます。それでは一括で質問した後に、再質問から一問一答で行きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

質問事項1、医療費助成事業について問う。沖縄県が2022年度、再来年度より、こども医療費助成事業の中学3年生までを対象とすると報道がありました。この報道があったのが私の誕生日の前日で、思わず万歳をしてしまったんですけれども、この拡充によって本町の財政状況にどのような影響があるかお伺いいたします。次に（2）重度心身障害者（児）医療費助成事業、母子及び父子家庭等医療費助成事業については、当初こども医療費と一緒に現物給付を目指す、本町の目標といたしますか、ありましたけれども、その目指す状況が今現在どうなっているかお伺いしたいと思います。

次に大きい問い2番目です。黄金森公園内の電気トラブルについて。（1）黄金森公園は、コロナ禍の中でウォーキングやランニングなどで多くの人に利用されていると考えております。その中で12月4日に停電が発生し、当面夜間の使用ができないと町の広報でも、LINE等でも通知があったんですけれども、その原因が何なのかお伺いしたいと思います。（2）当面の間ということでありましたけれども、修繕はいつまでに行うのかお伺いしたいと思います。

次に3番目です。心のケア・自死対策について問う。

（1）沖縄県は、平均寿命が短くなっている原因に自

死があると言われております。心のケア、相談窓口はどうなっていますでしょうか。(2) 新型コロナでの影響で、鬱などに悩む人も多くなっていると聞いています。本町での対策はどうなっていますでしょうかお伺いします。次に(3) 町立学校での子供たちの心の相談について、状況はどうか。臨時休校などで相談は増えていないかお伺いしたいと思います。お願いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは質問事項1点目の医療費助成事業について。(1) についてお答えいたします。今回の通院対象年齢の拡充により、令和元年度ベースで試算すると県からの補助金が約4,400万円増額する見込みがあります。

(2) についてお答えします。沖縄県重度心身障害者医療費助成事業補助金交付要綱、沖縄県母子及び父子家庭等医療費助成事業実施要綱において助成金の申請方法は償還払いとなっており、現物給付は補助対象外となっています。そのため沖縄県に対して現物給付方式を補助対象とするよう沖縄振興拡大会議を通じて要望をしております。

質問事項2点目の黄金森公園の電気トラブルについての(1) についてお答えします。電気保安委託業者に原因の特定を依頼したところ、高圧引込ケーブルが引込柱と受電室の間で断線し、停電へ至っているということであります。

(2) についてお答えします。業者から修繕の見積書を受領後、予算の補正ということですが、明日の追加提案を予定しております予算に補正をしていますので、早急に対応してまいります。工期は2月程度を予定しております。

質問事項3点目の心のケア実施対策について。まず(1) と(2) については関連していますので一括してお答えします。相談内容に寄り添って対応することが心のケアにつながるものと考えます。町では、関連部署間で連携しながら必要な支援につなげるようにしています。新型コロナウイルスの影響による相談にも、同様の体制で取り組んでまいります。以上です。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項3点目の(3) についてお答えします。臨時休校による相談件数の状況につきましては、一部で増えている学校がございます。内容としては、自粛によるストレス、学習の遅れへの不安、家族間の悩みなどがありました。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。それでは再質問を1問目から行きたいと思っておりますけれど

も、私が最初にこのこども医療費の提案を取り上げたのは、平成28年3月に取り上げて、そのときにもう、多分方針もあったと思うんですけども、平成29年1月からは医療費助成が始まりました。その中で執行部と一緒に、前町長も一緒になって要請をしようということで議会も担当部局へ要請に行ったときには、あまりつれない返事で、いつになったら県からいい返事がもらえるんだろうととても気に病んだときもあったんですけども、ようやく2022年度から現物給付、中学3年生まで対象になるということで大変喜んでおります。その中で財政的な負担もこれまでであったんですけども、県が4,400万円、令和元年度ベースでいけばそれだけ助成金が出るということなんですけれども、国からのペナルティーは以前、それも前町長のときに国からのペナルティーは甘んじて受けるけれども、県からはというようなこともあったりしたんですが、今回の県の動向の変化も受けて、国への要望とかそういったものはどうなっているか確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。まず、今回沖縄県のほうが2022年4月から中学生まで拡充、そういうふうに至ったまでの過程において、南風原町が先陣を切って年齢拡充をしていましたこの現物給付に取り組めたのも、奈津江議員がおっしゃっていましたように、ひとえに南風原町議会の皆様のご理解あって、そして後押しがあったものだと思って感謝申し上げます。ありがとうございます。その当時からの医療費助成、現物給付した場合には国保のほうで調整交付金のペナルティーがあるというふうに申し上げていましたが、このペナルティーの廃止については、ずっと毎年全国知事会から国に対しては廃止するようにという要請が今も続いています。この要請が続いて未就学児の分に関してはペナルティーは国のほうも廃止しています。ただ引き続き、小中学生の分に関しましてはまだ国保のペナルティーは残っている状況です。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。やはり子供たち、大きくなってからは健康にも安定というか、そんなに心配することもないんですが、小学生、中学生、義務教育の間だけでも国がペナルティーを課すことなく、医療費無料化、窓口無料化ですね、支えていってほしいというところからの質問です。是非ですね、私たちも声を上げていきますので、執行部にも今後とも尽力いただきたいというふうに思います。またこの医療費のものについては、過去になるんですけ

れども、当初から重度心身障害者（児）と医療費助成制度と母子父子の部分、是非窓口無料化をやっていたいということで当初から声を挙げていたんですけども、今現在の状況がまだ償還払いになっていて、単独でやっている母子父子の部分は単費で対応したりとかあるんですけども、その中で、やはり子供たちの平等性とかそういったところから行けば、この重度心身障害者（児）医療費助成補助金の事業とひとり親の母子父子の部分は同じようにといいますか、さらに困っている家庭を助けるための制度だと思っていますので、是非現物給付を早急にやっていただきたいと県にもお願いしたいんですけども、実際、担当として県の感触といいますか、県の対応はどういう状況なのか確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。奈津江議員おっしゃいますように、我々もこども医療費以外の2つの医療費助成について、議員おっしゃいますように、やはり経済的負担とかそういった部分の軽減にもなりますので、早急に現物給付方式にしたいということを再三、県のほうには申し上げてはおります。現状はまだ県の、この2つの医療費助成についての要綱の改正はまだしていただけていないのですが、毎年沖縄振興拡大会議等の場で要請は続けています。そういった中、母子父子家庭医療費助成の部分については意向調査が今来ております。令和4年4月からこども医療費が年齢拡充するにあたって、この母子父子家庭医療費助成、市町村の意向ということで調査が来ています。ただ、重度心身障害者医療費助成事業については、確認しましたところ、まだ意向調査をする予定はないという返事が来ています。この重度心身障害者の医療費助成については、平成30年の8月にやっと自動償還払いになったという経緯がありまして、まだ自動償還払いになったばかりだというふうな県のほうの考えもあるようですが、我々としては引き続き、自動償還現物給付、これは市町村が選択する部分で、県の要綱としてはどちらでも補助してもらえるような形で要綱を改正してもらいたいということで、要求を続けてまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。やはりなかなか、うんと言ってくれないというところだと思いますけれども、先日穀議員からもこの部分に関しては負担軽減で是非やってもらいたいとありましたけれども、穀議員のところは県政与党でもありますので、県のほうでも是非取り上げてもらって、力を尽く

していただきたいといふうに思います。

次に大きい2番に行きたいと思います。この黄金森公園の電気トラブルですけれども、現状、電線なのか地中なのか、この状況がどういうふうになっているのか詳しく説明をお願いしたいんですが。

○議長 玉城 勇君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城政光君 今回の件につきましては、町民の皆様大変不便をかけていることに対しておわび申し上げます。今状況としましては、先ほど答弁からございましたけれども、電力を電線から引き込む引込柱と、そして受電室ですね。実は高圧で引き込んでおりますので、それで陸上競技場のメインスタンド内でキュービクルという変電室があります。電圧を落とす装置がございますけれども、電柱から電圧を落とす装置まで、この間の高圧ケーブルに異常が発生しているということは確かでございます。それでどうしてそういうことが起こっているかということですが、これはまだ実際にこの高圧ケーブルを引き抜いてみるとか、そういうふうにしてみないとはっきりはしませんが、高圧ケーブルの場合、室内で配線しているというのと地中で、特に水があるときには寿命が短くなるということがございます。それで今回、ハンドホールといってあちこちにケーブルを地中ですね、配線は地中です。地中で配線するに当たって点検口みたいなものがございまして、そこに水が溜まっているという状況でございまして、ハンドホールに水が溜まるというのはよくあることであるようですが、こういう形で水が溜まって、ケーブルが水につかっている状況ということでございますので、そういった時には寿命がとても短くなるというのがあるみたいです。ですから、予測としてはこの水の影響で高圧ケーブルの寿命が短くなっているということで、今は予測しております。それで私どもとしては、これからはこのケーブルの異常ですね、ちょっと異常を掴むのは、電線を通してながら掴むのは大変難しいようでございますけれども、これがチェックできないか、そういう体制もできないか、今後は検討していきたいと思っております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。地中の中でなかなか確認もしづらいと思いますけれども、運動施設が少ない南風原町においては大事な黄金森ですので、その中で使用できない期間が長引きますと困る部分も大きいですので、是非ですね、こういった長期の故障期間とか停電で使えない期間というものが出ないような対策を是非やっていただきたいと思います。

(2) ですが、先ほど工期が2月ということだったんですが、2か月ではなくて2月ということによろしいですか。その確認をしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。先ほどすみません、副町長の答弁で2月と書いてあるんですが、2か月の誤りです。これは最大ということで、2か月ということを確認していますけれども、今部長からも答弁があったように、中に潜ってケーブルを確認して、最長で2か月ということなのでこれが短縮することは可能と考えます。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、トレーニングルームの支障とか、サッカーのキャンプ等も予定されていますし、時期的にどういうふうになるのかという心配もありますので、早急な対応は必要だと思います。その点では、明日補正予算で組まれる、提案されるということですのでほっとしていますけれども、早急に修繕していただいて、町民の方が早い時期に使用できるような環境づくりをしていただきたいと思いますけれども、実際今、使用できない時間帯の対応がどういうふうになっているのか。公園内ですので、どういった対策を取られているのかを確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えいたします。現在、停電に伴って陸上競技場、ランニングとかですね、そういったものは9時から5時まで利用が可能になっております。野球場も同時間です。トレーニング室のほうはコロナの感染症対策ができないということで今閉鎖しております。黄金森公園の入り口、駐車場に入るところ、そこは8時半から17時まで、5時に閉めております。以上になります。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん では、この時間以降には人が入れない状況をつくっているということによろしいでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 黄金森の陸上競技場の周り、ウォーキングとかを楽しまれている方がいらっしゃるんですけれども、5時になりましたら、今暗くなりますので促しております。もう帰ってくださいということで声をかけて出ていただいております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。ここ最近では冷たくなっているからあれなんですけど、まだ

ハブが出たりとかというところもあるものですから、暗くなった中で歩かれると、事故とかそういったことにもつながりますので、是非安全対策のほうはしっかりしていただきたいというふうに要望して、この質問を終わりたいと思います。

次に3点目、心のケア・自死対策についてですけれども、今回、この自死対策というのは、県でも命の電話相談というか、そういったことで取り上げていますけれども、県外のほうでも自殺が増えている。沖縄県においては元々多い地域ではあると言われています。ここ最近ですね、子供たちも悩んで学校に行きづらいつつですね、そういったこともあってこの質問を取り上げております。実際、新型コロナの影響で失業だったとか就職への不安だったとか、高校生の就職率もかなり落ちています。また専門学校生については試験が2月、3月にあって、その後の就職がどうなるかわからないとかですね、そういったところでも不安を抱えて、相談をどこにしていいいかわからないというようなこともあるようなので、実際、町へそういった相談が、コロナを受けて増えているのかどうか確認したいと思います。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 赤嶺奈津江議員のご質問にお答えします。就業とか、失業等の相談は社会福祉協議会のふれあい福祉相談室において相談受付をしております。昨年度と比べて今年度はコロナの影響と思われる分で相談件数が増加しております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん やはり本町においても、コロナの影響で失業等で心を病まれている方がいっぱいいらっしゃるのかなというふうに思います。是非ですね、そういったところに相談ができる方はまだいいと思うんですね、相談窓口が分かる方は。そういったところではやはり周知については町の役目として大きな役割を担わないといけないというふうに思うんですけれども、相談窓口についての周知方法はどうなっていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。この自殺予防対策につきましては、町では毎年9月の自殺予防月間においてパンフレット等を作成して全世帯にお配りしておりました。これが近年ちょっと配布ができておりませんが、そういう形で全世帯にパンフレットをお配りしてですね、そのパンフレットの中に県内の相談機関ということで、先ほどおっしゃっていました心の、

一番認知度が高い相談機関ですね、沖縄いのちの電話をはじめ、11機関、社会福祉協議会と町も含めてそういう相談機関、そういったところがあるということをパンフレットで周知しています。幸いなことに、幸いなことといえますか、本町にはその相談機関の中で南部保健所、それから沖縄県精神保健センターも町内にありますし、そういった形でどこどこに相談機関があるということを周知しております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。南風原町では、そういう受け皿的なところが結構あるということで、相談しやすい環境だというふうに私は今聞いて思いました。是非ですね、いろんな環境の中で変化、実際自宅で仕事をされて在宅勤務で、家庭のバランス的なものも崩れて、ちょっとコロナ離婚が言われたりとかですね、いろんな悩みが増えていると聞いているものですから、子供たちも休校期間は家にずっといて苦しいとか、今議会でもありましたが虐待の問題とかですね、いろいろ様々な課題が出てきているのかなと思います。その中で、コロナがはやり始めて妊産婦の方の不安というのがかなり大きくなっているということで、妊娠控え、妊活を控えるというような方も結構いらっしゃると聞いています。その中で出産を迎えられた方でも立ち会いができなくてとか、様々な相談をしたくてもなかなかできないということで産後鬱になったりということもよく聞くんですけども、この産後のケアについて多分今訪問ができない状況にもあると思いますけれども、そのフォローとか町がどういう対策を取っているか聞きたいと思います。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 産後鬱は近年もともと増加傾向にありまして、そういった案件については健康づくり班と医療機関で情報をやり取りしながら対応してまいりました。自粛期間につきましては電話連絡等の取組を行っておりまして、その後、自粛が解除された後には玄関口の訪問であったり、そういった対応を行っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。ホルモンバランスとか寝られない状況とかでとても大変な方もいらっしゃいますので、是非フォローをしっかりとさせていただいて、第三者に話すとか楽になるということもあるというのを聞いていますので、是非その対策をしっかりとやっていただきたいと思います。(1)(2)が一緒に答弁でしたので、(3)のほうに行きたいと思っています。

心のケアで、子供たちのほうも増えている学校もあるということなんですけれども、相談をする際の流れ、どういうふうになっているかお聞きしたいと思います。受付といいますか、申込みをしてすぐできるものなのか、先生の話してすぐできるものなのか、どういう流れになっているかお聞きしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。まず、子供たちが相談を希望する際に、例えば養護教諭の先生だったりとか町で配置している心の教室相談員の先生だったり、担任の先生との教育相談の面談のときだったり、あらゆるところで子供たちから相談がございます。その中でスクールカウンセラーにつながるのか、町の相談員のほうで子供たちと対応するのかというのを決定したり、あとは担任の先生と保護者の方を踏まえて、交えて話をするのかというのを考えたりとか、場合に、場面に応じて対応しております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。県立の学校のほうですけども、授業中の時間帯に相談時間を設けられたりするので相談しにくいということがあったんですが、町としてはどういう対応になっていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 学校のほうに配置されているスクールカウンセラーや心の相談員については授業時間中に相談を受けることもあるんですが、やはり多くの場合が配慮が必要なケースもありますので、学校では放課後だったり、お昼の休憩時間等を活用して相談を受けたりというような工夫をしております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。やはり周りからの目といいますか、相談していることを知られたくない子もいますし、いろいろな状況によって対応が変わると思いますので、その子に合わせた相談をやられているという認識で捉えましたので、是非これからも寄り添って子供たちのケアをやっていただきたいと思います。その中で、実際コロナの影響で休校後から相談が増えているということですけども、学校側の対応としても体調不良とか発熱があったときには休み扱いにしないで、出席停止扱いみたいな形になると確認しているんですけども、学校側からのそういったことでの相談とか対応の仕方とか、困っていることとかという、反対に学校側から町への相談とかというのがありますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。
やはり今は、ちょっと熱があったりとか体調不良のときにも登校自粛の対象になっておりますので、学校側からの相談としては、普段の体調不良と今は無理に登校はさせないというようなことがありますので、普段の体調不良と切り分けとか、そういうのをどのように見ていったらいいのかというような相談がございました。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、停止扱いといいますか、自粛の件数については増加傾向にあるのか、そんなに変わらないのか、状況はどうでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。
出席停止の件数につきましては、やはり今年度はまず保護者の方がコロナウイルス感染への不安とかでお休みになる場合も出席停止扱いですし、9月以降も沖縄県内全体感染が続いておりまして、県のレベルも上がっておりますので、家族にも体調不良の方がいた場合にはお休みだったりとか、濃厚接触者になるとお休みとかがありますので、出席停止の件数については増えております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。そうすると、欠席が多くなるということは、学業というか、学習面での遅れも出てくるとは思いますけれども、そのフォローについては今現在どうなっていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。
不安で出席停止することで、今長期的になっているものは多くは見られないです。一日、二日程度ということでそこは学校に出てきてからの対応となります。長期間お休みするようなことがあれば、学校のほうで課題を出したりとか、やはり定期的に連絡を取り合って相談に乗ったりというような対応をしております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。長期的にはなっていないということでほっとしているんですけども、ちょっとした体調不良でも、もしかしたらという思い込みで余計にストレスで具合が悪くなる子もいる。そういう思い込みでなる子もいるというふうに聞いていますので、不安を排除していくために、コロナが一番落ち着くのがいいかもしれませんが、当面まだ流行は続きそうですので、是非ですね、このカウンセリングとか相談とか、そういったところには是非

非力を入れてもらって、少しでも不安材料を取り去ってあげるような対応をしていただきたいと思います。

最後に、この自死対策は子供からお年寄りまで不安になって、最後は自分でというような状況をいかになくしていくかというのが課題だと思いますので、執行部、関係部署ではなくて、全庁挙げてこの対策を取り組んでいただきたいというふうに思いますし、私たちも地域の目として、不安材料を取り去ることができるような対応をやっていききたいと思います。これまで長期にわたってこんなふうになったことがないので、かなり職員の皆さんにも、また医療機関の皆さんにも負担があると思いますけれども、是非健康に留意されて、新年を迎えていただきたいと思います。ありがとうございました。

○議長 玉城 勇君 以上で本日の日程は、全部終了しました。本日は、これで散会します。

散会（午前11時41分）